

幼児の交通事故が増えています

幼児が被害に遭う事故が、先月相次ぎました。

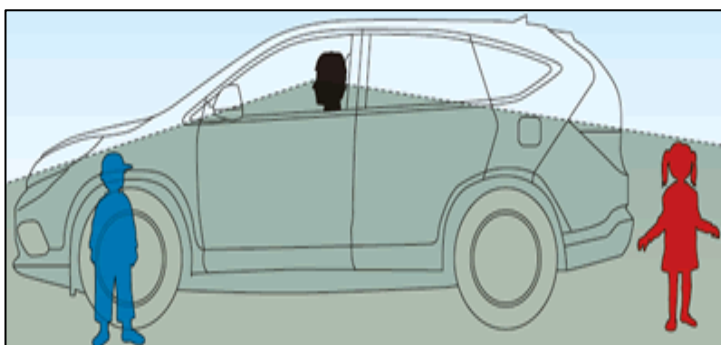
(事故1) 福岡県の病院の駐車場で2歳の女児が、母親の運転する車にひかれ亡くなりました。

この事故は、幼児を先に降ろし、ひとりにしてしまつた事と、運転者の死角に入ってしまった事が原因と考えられます。

駐車場では、先に子供だけを降ろさず、必ず大人が先に降りましょう。車には思っている以上に死角があります。「子どもは背が低く見えにくい」ことを、忘れず慎重に運転しましょう。

(事故2) 東京で、スケートボードに乗っていた4歳の男児が、車にはねられ亡くなりました。

スケートボードやキックボードなどは、遊具であり、車や歩行者が頻繁に行き来する道路で使うことは禁止されています。



保護者のみなさん、お子さんに『道路では遊ばない』ことを教えましょう。

おうちのひとのための

交通安全新聞

2020年
7月号



学校が始まってからひと月が経ちます。私たちも6月から交通安全教室を再開しています。小学一年生の教室では、幼稚園や保育園で見た顔がずらり。私たちの事を覚えてくれていて、今でも「山ちゃん、黒ちゃん」と元気にあいさつしてくれます。幼稚園や保育園の交通安全教室は、9月から行う予定です。例年三回行ってきた教室が、今年は一回に減りますが、道路を歩く時の約束を楽しく分かりやすく伝えていきたいと思ひます。

- 1 道路を渡る時は横断歩道を渡りましょう。
- 2 信号が赤の時は止まり、青の時は周りをよく見て車が来ていないかを確かめてから渡りましょう。
- 3 道路を渡る前には、右左右をよく見て車が来ていないか確かめましょう。
- 4 道路や駐車場のそばでは絶対に遊ばないようにしましょう。
- 5 道路には飛び出さないようにしましょう。

